

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

嘔吐や下痢の症状の患者様が増えています！



まだまだインフルエンザが流行していますが、嘔吐や下痢の症状で来院される患者様も増えてきました。感染経路としてはウイルスが口から入る糞口感染です。吐いたり下痢をした汚物の後片付けをした保護者の手にウイルスが付いていて、別のお子様へ…ということもあります。トイレのドアノブ、手洗い場の蛇口などに付いた少しのウイルスでも症状を引き起こしてしまうぐらい感染力の強いウイルスです。家族の一人が感染してしまうと、家族全員が感染してしまうこともあります。（大人でも発症することがあります）



ロタウイルス、ノロウイルスなどは検査で分かる代表的な胃腸炎を引き起こすウイルスですが、検査で検出されない胃腸炎をおこすウイルスももちろん存在します。ロタウイルス、ノロウイルスを調べる検査も100%ではありません。「ロタ、ノロじゃなくて良かった」ではなく、お子様の今の状態を把握することが一番大切です。胃腸炎の治療はロタウイルスでもノロウイルスでも、もちろん他のウイルスでも一緒です。嘔吐や下痢で失った水分や塩分を点滴で補ってあげる対症療法が基本となります。

胃腸炎の原因になるウイルスにはアルコール除菌では効果がありません。消毒には次亜塩素酸ナトリウムです。希釈して消毒に使用しますが、時間が経つと効果がなくなってしまったため、その都度希釈して使用する必要があります。**感染予防の一番は手洗いです！！**

嘔吐、下痢の症状意外にこんな症状があったら注意が必要です！！

下痢や嘔吐の症状の他に、唇や皮膚がカサカサで、泣いても涙が出ない、よだれが出ない、目がくぼんでるなどの症状がある場合、重度の脱水です。稀に合併症として脳炎などがあり、重症化することがあります。ボーっとして意識がはっきりしない、受け答えが出来ないなど普段と違うと思ったら、大至急病院に連れてきて下さい。

○嘔吐がひどいとき

吐いた物が気管に詰まらない様に顔を横向きにしてあげましょう。

○下痢がひどいとき

おしりふきでしっかり拭くよりも、シャワーで洗い流せばおしりは荒れにくくなります。

○水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるからといってすぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水分からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがるもので大丈夫です。

※吐き気止めの座薬を有効に使いましょう

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をととても消耗します。グタッリして脱水も進んでしまいます。吐き気が強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。**本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！**

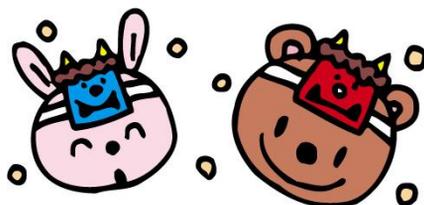
当院の流行状況

インフルエンザがまだまだ流行しています！！

現在主に検出されているのは**インフルエンザA型**です。まだまだ流行は続きそうです。

RSウイルスが検出されています。ピークは過ぎているようですが、まだ検出は続いています。

ノロウイルス・ロタウイルスが検出されています。





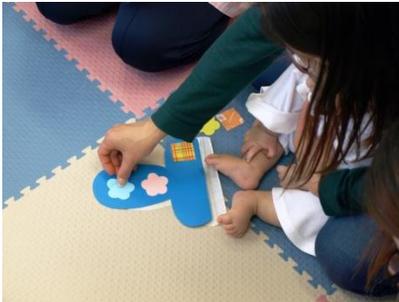
ひなまつり



2月27日に病棟行事“ひなまつり”を行います。



学童期のこどもたちはカバン
乳幼児のこどもたちは冠を作ります。



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。